



Interim Report

第77期 上半期 株主通信

2020.4.1 - 2020.9.30

2021年3月期 上半期のご報告

入洲電機株式会社

証券コード：3153



代表取締役会長兼社長

太田 明夫

経営理念

「信・愛・和」

信は、「社会に信用・信頼される会社」

愛は、「社会に奉仕する会社」

和は、「社会に協力・協調する会社」を表します。

経営ビジョン

クオリティの高いサービスを通じ
お客様とともに価値を創造するベストプランナーとして
環境配慮型社会に貢献する

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた方に哀悼の意を表し、ご遺族の皆様にご挨拶とお悔やみ申し上げますとともに、この感染症に罹患された方々とそのご家族の皆様にご挨拶とお見舞い申し上げます。また、医療に従事されている方々をはじめ、社会基盤を支えて下さっている皆様にご挨拶申し上げます。

ここに、第77期上半期(2020年4月1日から2020年9月30日まで)における営業の概況及び決算の内容等についてご報告申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益は大幅な減少となり、各種政策の効果もあり持ち直しの動きがみられるものの、景気の先行きは依然として厳しく不透明な状況が続いております。

そのような状況の中、当社グループは2020年4月から始まる「中期経営計画」を策定し、『高度情報化時代に対応し、社会に貢献する「エンジニアリング会社」として、付加価値の高い技術・サービスを提供し、お客様とともに未来を創る』というビジョンのもと、各種施策に取り組んでおります。

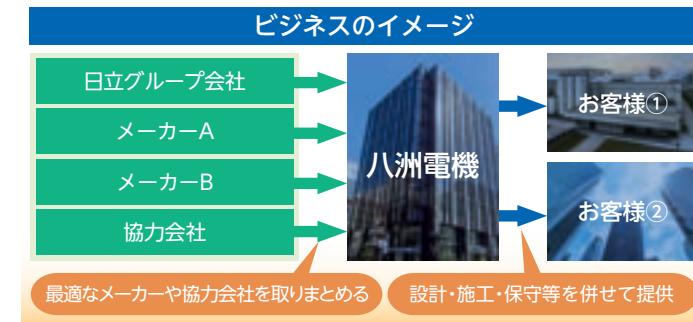
今後も、これまで以上に事業環境の変化に迅速に対応しながらソリューション・エンジニアリング力の強化とグループ会社の収益力強化を推進し、八洲電機グループ丸となって、更なる事業規模の拡大と収益力の強化を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当社のビジネスのイメージと、エンジニアリング力を活かしたビジネススタイルについて紹介します。

当社はエンジニアリング会社として、お客様が工場や事務所等への設備の導入やリニューアルをする際、最適なシステムの構築を行い、設計・施工・保守等を併せて提供します。

最適なシステムをワンストップで提供し、環境・省エネ・高効率化等の多様なニーズにお応えします。



コア技術

5つのコア技術で、システム設計・施工・管理を行い、お客様の多様なニーズにお応えします。更にコア技術を「技術ソリューション力」等で横断的に進化・融合し、お客様にとって最適なソリューションを提供します。

コア技術				
電機制御システム 最適化を実現するため設計から行う	環境システム ニーズに応じ様々な環境を作り上げる	交通システム 鉄道事業のニーズにお応えする	情報システム 様々な情報を取りまとめ、伝達を実現する	エネルギーシステム 再生可能エネルギーを活用する
技術ソリューション力		それぞれのコア技術を進化・融合し問題を解決する		
プロジェクトマネジメント力		案件ごとに取りまとめを行う		
総合エンジニアリング力		設計・調達・工事等を連携させ提供する		
アライアンス構築力		日立グループ会社をはじめとした、最適なパートナーと協業し提供する		

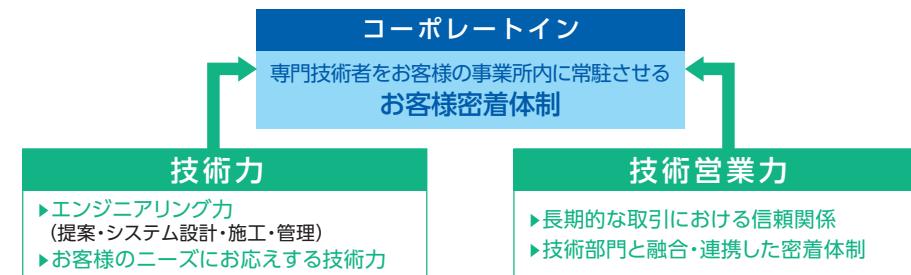
エンジニアリングフロー

製品を販売するだけでなく、プレエンジニアリングから、設計、調達、建設、運転、保守、アフターサービスまでを一貫して行い、当社の技術とともにサービスを提供します。



コーポレートイン

当社の専門技術者をお客様の事業所内に常駐させ、お客様の立場となって最適なソリューションを提供します。これにより、お客様のニーズや課題に対して迅速な対応を実現できます。



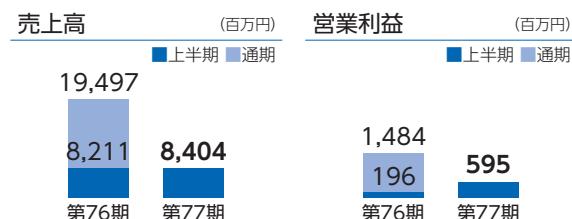
八洲電機グループは、2020年4月より2つのセグメントでお客様の多様なニーズにお応えしております。

プラント事業

鉄鋼・石油・エネルギー等のプラント分野に最先端技術で貢献

事業内容 省エネ化、高効率化への対応及び老朽化更新による設備管理の充実といったニーズに、最先端機器と八洲ソリューション技術を組合せたシステムを提供しています。

主要取扱製品 鉄鋼システム、自家用発電設備、受変電・配電設備、圧延設備、電機制御、生産管理システム、これらに関わる保守・メンテナンスサービス等



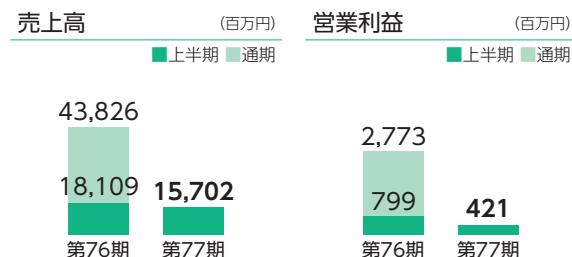
- 鉄鋼・非鉄分野では、鉄鋼分野において市況低迷による設備の休止等が続いているものの、老朽設備の更新や生産能力及び効率の向上、安全確保を目的とした大型案件が予定通り進捗し、売上高は堅調に推移しました。
- 石油・化学・ガス分野では、石油分野で国内燃料需要の減少と原油価格下落に伴う影響が続いているものの、石油精製設備関連の大型更新工事が予定通り進捗し、売上高は堅調に推移しました。

産業・交通事業

化学・医薬品・紙パルプ・機械・電気機器・精密機器・鉄道等の幅広い業界に貢献

事業内容 産業分野では空調・冷熱・圧縮機等の環境制御、省エネに配慮した照明やITソリューション等を提供し、鉄道分野ではインフラの整備・構築を手掛け、安全・安心な社会に貢献しています。

主要取扱製品 空調設備、照明設備、受変電システム、セキュリティシステム、車両及び車両電気品、駅設備関連システム、これらに関わる保守・メンテナンスサービス等

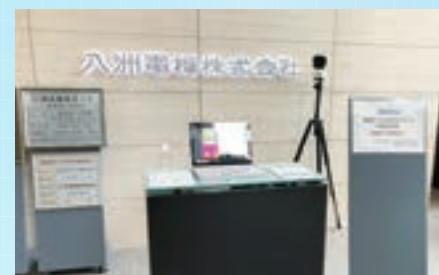


- 産業機器分野では、新型コロナウイルス感染症による市況悪化の影響で、設備機械関連セットメーカーの生産減少や電気設備業界の再開発案件遅延等により、売上高は低調に推移しました。
- 一般産業分野では、医療及び化学関連顧客の新規設備投資や、セキュリティ事業・ネットワーク事業における新規案件の取込みにより、売上高は好調に推移しました。
- 空調設備分野では、設備工事案件及び情報通信分野向け特殊空調が予定通り進捗したものの、大口空調機納入案件が減少し、売上高は低調に推移しました。
- 交通分野でも、新型コロナウイルス感染症による影響を強く受け、列車運行システム関連工事及び受変電設備の大型更新工事が減少し、売上高は低調に推移しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に対する当社の取組みについて

当社は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ご来社される皆様や従業員とその家族の安全確保・感染防止を最優先とし、様々な感染予防対策を実施しております。

在宅勤務や時差出勤の実施、また、社内においてはマスクの着用をはじめ、手洗い・うがい・手指の消毒・咳エチケットの励行、三密の回避、飛沫防止のパーテーション設置、テレビ会議やWeb会議の実施、入館者の体温測定等、関係者の皆様及び従業員の安全と感染防止に配慮しております。



受付に「体表面温度測定カメラシステム」を設置



オフィス内に「飛沫ガードパーテーション」を設置



社内に消毒液・うがい薬を設置

新型コロナウイルス感染症対策製品のご紹介(八洲環境エンジニアリング株)

感染症対策用 簡易型陰圧ブースユニット

排気フィルターとともに使用することでブース内部を陰圧化し、病院や研究施設、介護施設等で簡単に陰圧ブースを設置できます。

● クリーンな環境を実現します

ウイルス・細菌等の病原体による感染防止を目的とした感染症対策機器の「排気HEPAフィルターユニット」を併用することにより、簡易的に陰圧ブースを設置することができ、クリーンな環境を実現します。

※「排気HEPAフィルターユニット」は株式会社日立産機システムの製品です。

● 工事が不要です

設置するだけで陰圧ブースとして使用できます。また、キャスター付きのため移動が容易で、折りたたんでコンパクトに収納することも可能です。



ブース設置時



ブース収納時

▶ その他の取扱製品を八洲電機ホームページで紹介しています。 https://www.yashimadenki.co.jp/lp_infectious.php

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 2020年3月31日現在	当上半期 2020年9月30日現在
資産の部		
流動資産	45,592	40,995
固定資産	11,453	11,500
有形固定資産	7,588	8,031
無形固定資産	419	388
投資その他の資産	3,444	3,079
資産合計	57,045	52,496
負債の部		
流動負債	33,770	30,059
固定負債	2,349	2,111
負債合計	36,120	32,171
純資産の部		
株主資本	20,934	20,457
資本金	1,585	1,585
資本剰余金	1,037	1,037
利益剰余金	18,493	18,065
自己株式	△181	△230
その他の包括利益累計額	△394	△352
非支配株主持分	384	218
純資産合計	20,924	20,324
負債純資産合計	57,045	52,496

連結損益計算書

(単位：百万円)

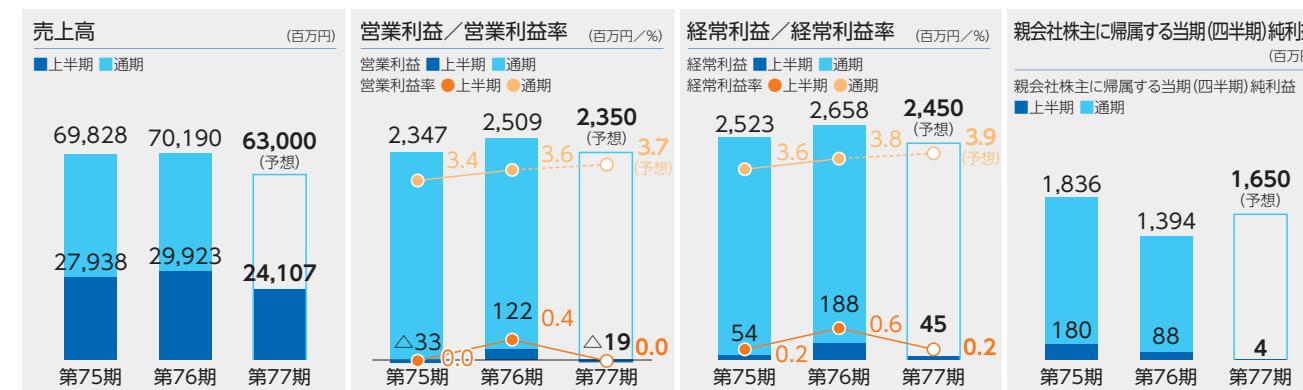
科目	前上半期 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日	当上半期 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日
売上高	29,923	24,107
売上総利益	5,162	4,637
販売費及び一般管理費	5,040	4,656
営業利益又は営業損失(△)	122	△19
営業外収益	74	67
営業外費用	8	3
経常利益	188	45
特別利益	3	69
特別損失	8	6
税金等調整前四半期純利益	184	108
法人税等合計	102	96
四半期純利益	82	11
非支配株主に帰属する 四半期純利益又は純損失(△)	△6	7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	88	4

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前上半期 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日	当上半期 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	228	3,905
投資活動による キャッシュ・フロー	△873	635
財務活動による キャッシュ・フロー	△585	△173
現金及び現金同等物の増減額	△1,232	4,367
現金及び現金同等物の期首残高	7,898	9,041
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,666	13,409

財務ハイライト



資産の状況



キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)



ポイント解説

- 1 流動資産** 前期末に比べ45億96百万円減少。
(主な要因) 受取手形及び売掛金96億17百万円減少。
- 2 流動負債** 前期末に比べ37億11百万円減少。
(主な要因) 支払手形及び買掛金85億34百万円減少。
- 3 営業活動によるキャッシュ・フロー** 39億5百万円のプラス(前年同期は2億28百万円のプラス)。
(主な要因) プラス要因として、売上債権の減少額99億3百万円、未払金の増加額21億8百万円。
マイナス要因として、仕入債務の減少額74億69百万円、たな卸資産の増加額5億75百万円。
- 4 投資活動によるキャッシュ・フロー** 6億35百万円のプラス(前年同期は8億73百万円のマイナス)。
(主な要因) プラス要因として、投資有価証券の売却による収入1億20百万円、貸付金の減少額7億91百万円。
マイナス要因として、有形固定資産の取得による支出6億67百万円。

連結経営指標の推移

(単位：百万円)

	2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期	
	上半期	通 期	上半期	通 期	上半期	通 期	上半期	通期(予想)
受注高	34,224	69,969	36,992	74,554	39,998	71,389	29,761	—
売上高	30,234	73,523	27,938	69,828	29,923	70,190	24,107	63,000
経常利益	247	2,171	54	2,523	188	2,658	45	2,450
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	206 (※1)	1,575 (※1)	180	1,836 (※2)	88	1,394 (※3)	4	1,650
純資産額	17,462	18,731	18,535	20,089	19,739	20,924	20,324	—
総資産額	47,104	60,332	46,388	58,783	45,031	57,045	52,496	—
有利子負債	1,257	968	1,156	889	749	738	733	—
1株当たり純資産額(円)	784.83	846.89	843.04	913.52	897.27	951.29	933.41	—
1株当たり当期(四半期) 純利益(円)	9.49	72.44	8.33	85.01	4.11	64.61	0.21	76.55
自己資本比率(%)	36.29	30.43	39.20	33.52	43.02	36.01	38.30	—
ROE(%)	—	8.94	—	9.65	—	6.93	—	—
ROA(%)	—	2.70	—	3.08	—	2.41	—	—
従業員数(人)	1,014	997	1,044	1,037	1,051	1,048	1,007	—

(※1) 2018年3月期の親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益は、土地の譲渡による特別利益及び厚生年金基金からの脱退に伴う特別損失を含んでおります。

(※2) 2019年3月期の親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益は、土地の譲渡による特別利益を含んでおります。

(※3) 2020年3月期の親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益は、連結子会社の株式譲渡に伴う特別損失を含んでおります。

八洲電機グループ 中期経営計画(2020~2022年度)について

当社グループは、2020~2022年度の事業運営の指針となる中期経営計画を策定し、下記のとおり取組んでおります。
今後長年にわたり新型コロナウイルス感染症の影響を受けると想定されるなか、これまで以上に事業環境の変化に迅速に対応し、各種施策及び戦略の完遂を目指してまいります。

中期経営計画(2020~2022年度)

ビジョン

高度情報化時代に対応し、社会に貢献する「エンジニアリング会社」として、
付加価値の高い技術・サービスを提供し、

お客様とともに未来を創る

重点施策

1. 八洲独自の「エンジニアリング会社」の推進を図る
2. ビジネスパートナーの拡大及び新規商材を創出し事業規模の拡大を図る
3. M&Aを実施しエンジニアリング力の強化及び事業規模の拡大安定を図る
4. 八洲電機グループ力強化によるビジネスチャンスの拡大を図る
5. ワークスタイル変革により生産性の向上を図る
6. コンプライアンス及びCSR活動の推進

組織戦略

- 「エンジニアリング統括本部」をビジネスユニットから独立させ、八洲電機グループ全体のソリューション・エンジニアリング力を最大限に発揮させ拡大を図る
- 「グループ事業戦略室」を新設し、八洲電機グループ一体での事業成長戦略を推進し、シナジー効果を最大限に発揮させ拡大を図る
- 「グループ調達本部」を新設し、各社個別調達機能を改め、八洲電機グループ全体での調達戦略とし、推進する

八洲電機健康経営の取組み

～社員の「ヘルスリテラシー」の向上を目指して～

当社は、健康管理に関する正しい知識を持ち、これを実践できる力である「ヘルスリテラシー」の向上を目指し、健康に対する意識を高める様々な取組みを行っております。

産業医による健康講話の実施や禁煙チャレンジ(禁煙外来治療費全額補助)、ストレスチェックによるストレス対策の推進、健康セミナーの実施、インフルエンザ予防接種費用の全額補助等のほか、今年度はBMI*値の改善等にも注力しております。

今後も社員の健康保持・増進に向け、自己健康管理力の向上、健康風土の醸成、安全配慮の徹底を推進し、社員の「ヘルスリテラシー」の更なる向上を目指してまいります。

*[体重(Kg)]÷[身長(m)の2乗]で算出される値。肥満や低体重(やせ)の判定に用いる。

八洲電機健康経営「重点施策」

- 1 からだの健康: 運動機会の増進・喫煙者の減少
- 2 職場の健康 : 所定時間外労働時間の更なる減少・有給休暇取得率の更なる向上
- 3 こころの健康: 産業保健スタッフ拡充による健康相談の利用促進

「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」を提出

2020年6月、東京証券取引所に「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」を提出しました。

当社は、当社グループの持続的な成長及び長期的な企業価値の向上を図る観点から、公正かつ透明な企業活動を行うことを経営の基本とし、この方針を支えるコーポレートガバナンスの重要性を充分認識し、経営の公正性・透明性を確保するとともに、迅速な意思決定の維持・向上に努めてまいります。

▶ ホームページからもご覧いただけます。
https://www.yashimadenki.co.jp/ir_action_governance.php

ホームページのご案内

当社ホームページは、「[会社案内](#)」「[事業紹介](#)」「[株主・投資家の皆さまへ](#)」「[環境への取り組み](#)」等の各ページにおいて、当社に関する様々な情報を発信しております。

本社ビルにおいて再生可能エネルギーを活用

2020年4月より、本社ビルの電力をバイオマス発電による再生可能エネルギーに切替えました。

「バイオマス発電」は、動植物等の生物から作り出される有機性のエネルギー資源を燃料として発電します。本社ビルが供給を受けている電力の再生可能エネルギーは、木くずや建築廃材等のチップを利用しており、これにより年間315トンのCO₂排出削減を実現します。

当社グループは環境方針に基づき、引き続き「地球環境保全」と「持続可能な社会」の実現に貢献してまいります。



八洲電機

検索

<https://www.yashimadenki.co.jp/>

スマートフォンでも
ご覧いただけます。



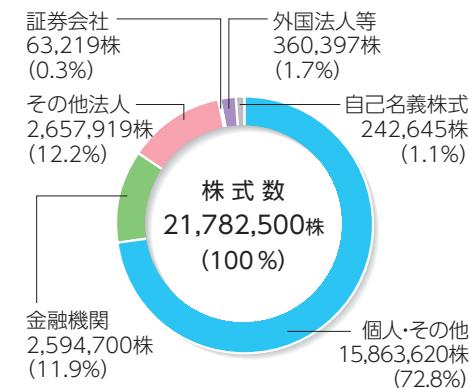
会社の概況

商号 八洲電機株式会社
Yashima Denki Co., Ltd.
創立 1946年8月8日
資本金 1,585百万円
従業員数 連結1,007名 (単体519名)
本社 〒105-8686
東京都港区新橋三丁目1番1号

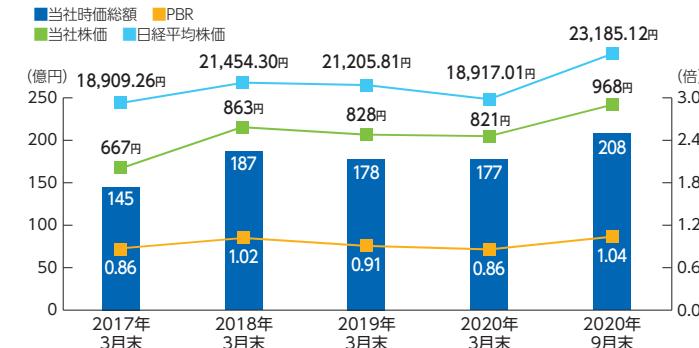
株式の状況

発行可能株式総数 50,000,000 株
発行済株式総数 21,782,500 株
株主数 26,645 名

所有者別分布状況



株式関連指標



主要拠点

本社 〒105-8686 東京都港区新橋三丁目1番1号
エンジニアリングセンター 〒105-0014 東京都港区芝三丁目14番4号
関西支店 〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋三丁目3番13号 ニッセイ淀屋橋イースト4F
中国支店 〒730-0051 広島県広島市中区大手町三丁目8番1号 大手町中央ビル8F
岡山支店 〒710-0824 岡山県倉敷市白楽町249番地5 倉敷商工会館5F

各事業所等 東北営業所、茨城営業所、千葉営業所、京浜営業所、知多営業所、堺営業所、倉敷営業所、水島事務所、福山JFE構内事務所、福山営業所、呉営業所、東予事務所、周南営業所、大分営業所、福岡営業所

- 八洲ファシリティーサービス株式会社
- 八洲産機システム株式会社
- ヤシマコントロールシステムズ株式会社
- 八洲環境エンジニアリング株式会社
- 八洲情報システム株式会社
- 株式会社中国パワーシステム
- 株式会社西日本パワーシステム
- 株式会社三陽プラント建設
- 八洲ビジネスサポート株式会社

グループ会社

株主還元(配当・優待) (2020年9月30日 現在)

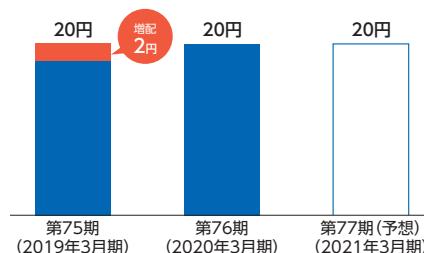
Shareholder Return

株主還元

株主の皆様からのご支援に感謝し、投資魅力を高め、株式を長期間保有していただくため、配当と株主優待制度を実施しております。

配当について

- 権利確定日: 毎年3月末
- 配当金額: 1株当たり20円(予想)



株主優待制度について

- 対象となる株主様: 毎年9月末日現在の当社株主名簿に記載又は記録された1単元(100株)以上保有されている株主様
- 優待内容: ■保有株式数と継続保有期間によって「全国共通お食事券／東日本復興支援ジェフグルメカード」を贈呈します。
 - 継続保有期間の起算日を2019年9月末(基準日)とします。
 - 継続保有期間の9月末日及び3月末日の株主名簿に、**同一株主番号で、各保有株式数区分以上の株式を保有していることが連続して記載又は記録されていることを条件とします。**
- 贈呈時期: 毎年11月下旬頃の発送を予定しております。

「全国共通お食事券／東日本復興支援ジェフグルメカード」

保有株式数区分	継続保有期間*		
	1年未満	1年以上3年未満	3年以上 (2022年9月末以降の適用)
1,000株以上	5,000円分	6,000円分	7,000円分
200株以上 1,000株未満	2,000円分	2,500円分	3,000円分
100株以上 200株未満	500円分	1,000円分	1,000円分

※ 継続保有期間1年以上とは、同一株主番号で9月末日及び3月末日の株主名簿に各保有株式数区分以上の株式を保有していることが連続して3回以上記載又は記録されていることとし、継続保有期間3年以上とは、連続して7回以上記載又は記録されていることとします。

株主メニュー

- 上場取引所 東京証券取引所市場第一部
- 証券コード 3153
- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 3月31日及びあらかじめ公告する一定の日
- 公告方法 電子公告により行います。
公告掲載URL : <https://www.yashimadenki.co.jp/>
※ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 1単元の株式数 100株
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。

八洲電機株式会社

<https://www.yashimadenki.co.jp/>

〒105-8686 東京都港区新橋三丁目1番1号
TEL.03-3507-3711

